

# クマに注意！

生息地で被害に遭わないために



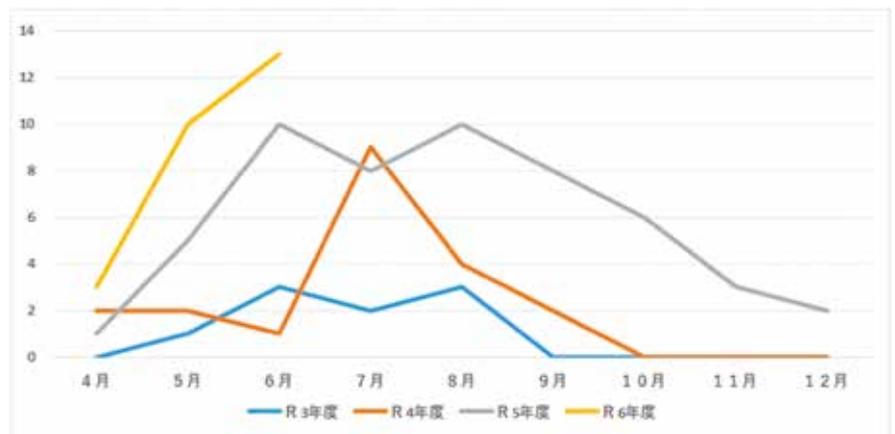
関根農林課林政鳥獣対策係  
(☎内線2619)

クマに荒らされたハチの巣箱

5月31日未明、松井田町土塩地内の民家にクマ1頭が侵入し、夫婦が襲われ重傷を負うという人身被害が発生しました。

今回の被害は、クマの生息地域にある自宅敷地内にクマを呼びやすいとされるミツバチの巣箱を設置していたことが原因の1つと考えられます。クマをはじめとした野生動物の出没には要因があります。人身被害や農林業被害に遭わないため、十分注意しましょう。

## 安中市内におけるクマ目撃・痕跡発見の件数



※令和6年度は6月末まで

## クマの出没が増えています

クマによる人身被害は、山の中など「クマの生息地域」で発生するものと、「人間の生活圏」で発生するものがあり、それぞれの状況にあった対策をとることが重要です。

近年、気候変動などの影響でクマの餌となる木の実などが不足すると、餌を求めて多くのクマが人里に下りてくる傾向があります。

本市のクマ目撃件数は、令和3年度は9件でしたが、4年度は20件、5年度は53件と急激に増えています。今年度も6月末までに26件が報告されており、近年で最も多いペースとなっています。一般的に、クマは早朝と夕方のような薄暗い時間帯に活発に行動するといわれますが、目撃例は昼夜を問わずあるので注意が必要です。

## 春～秋は特に注意

特に、春から秋にかけてはクマの行動も活発になり、農地や集落など人間の生活圏での出没が多くなります。人身・農作物への被害を防ぎつつ、人とクマとの適切な距離を保つには「出没情報や痕跡があった場所に近づかない」、「人間の生活地域にクマを誘引させない」といった取組みが必要です。